

お買い物のごっこで学ぼう

| 単 元 | 買えますか？買えませんか？ | 対象学年 | 2 年 |
|-------|--|------|-----|
| ね ら い | 1つの品物が持っているお金で買えるか買えないかの判断をもとにして、複数の品物の値段を見積もり、買い物をすることができる。 | | |

1 準備するもの

教師：おもちゃのお金（100円のみでよい）、お金を入れる箱、品物にするおもちゃ、品物を記入するワークシート

2 学習のしかた

- (1) 児童をお店屋さんとお客さんに分ける。
- (2) 1つの品物の値段を100円前後にする。
(98円, 105円など)
- (3) まずは、100円持ち、1つの品物を買う買い物ごっこを行う。
- (4) 100円で買えるもの、買えないものを整理して、その理由を話し合う。
- (5) 次は100円玉5枚を持ち、5つの同じ品物を買う買い物ごっこを行う。
- (6) 98円のおもちゃ5個は、100円玉が5枚あれば買える場面を取り上げ、なぜ買うことができるのかを話し合う。
- (7) 105円のおもちゃ5個は、100円玉5枚では買えない場面を取り上げ、なぜ買うことができないかを話し合う。
- (8) お店屋さんとお客さんを入れかえて、同じように買い物ごっこを行う。



3 学習上の留意点

- ・品物が買えるかどうかを、実際に計算して求めるのではない。1つの品物が100円で買えるかどうかを判断し、それをもとにして、400円で98円のおもちゃが4つ買えること、300円で、98円のおもちゃが3個買えることを理解する。
- ・買い物ごっこでは、いくらものものを、いくつ買おうとしたのか、それは買えるのか買えないのかをワークシートに記入して行うようにする。
- ・「4つのものを買いたい時は、100円玉を4枚わたす」といった買いたい物の数と児童にわたす100円玉の数をそろえるようにする。